

在日朝鮮人の人権—歴史と現在

～植民地主義と分断を問い直す～

2012年

時間

14:00～17:30 (開場 13:30)

場所

キャンパスプラザ京都
第1講義室
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
[JR京都駅中央口3分 ビックカメラ前]

資料代

一般 800円 学生 500円

2/4
【土】

近年、在日朝鮮人の権利をめぐる状況は悪化の一途をたどっています。「高校無償化」からの朝鮮高校生の排除や自治体の朝鮮学校への補助金ストップなどの民族教育への差別、「在特会」の朝鮮学校襲撃やそれを容認する日本社会の排外主義、そして、朝鮮民主主義人民共和国への「制裁」措置のもとでの治安当局による在日朝鮮人団体への弾圧や入管制度を悪用した在留権の侵害、これらはその一例に過ぎません。東日本大震災発生後の「がんばろう、日本」の合唱は、こうした状況を一層悪化させているようにさえ見えます。

本シンポジウムでは、こうした在日朝鮮人の諸権利の侵害状況について、その実態を明らかにすると同時に、歴史的な視点からその意味を検討します。朝鮮解放から半世紀以上が過ぎた現在、なぜ旧宗主国たる日本は在日朝鮮人への迫害を続けるのか、また、南北朝鮮の分断は在日朝鮮人の権利保障の実現をいかに阻んでいるのか、そして、在日朝鮮人の民族的権利をいかに勝ち取ることができるのか。在日朝鮮人が直面するこれらの諸問題について討議します。ふるってご参加ください。

※本シンポジウムの趣旨に反する方のご入場はお断りする場合があります。

記念講演

「朝鮮半島の平和と
在日朝鮮人の人権」
徐 勝 (立命館大学教員)

パネルディスカッション

「何が変わり、何が変わらなかったのか」

パネラー 金 哲 秀 (朝鮮大学校教員)
李 春 熙 (弁護士) 裴 明 玉 (弁護士)

コーディネーター 鄭 栄 桓 (明治学院大学教員)

各地からの報告

- 京都朝鮮第一初級学校襲撃事件裁判
- 福岡在日無年金高齢者裁判
- 東日本大震災の被災現場から

主催 在日本朝鮮人人権協会／京都大学コリアン学生の集い
連絡先 03-3837-2820 jinken94@yahoo.co.jp (人権協会事務局)